

SOZAN Global Can-do List (教科:理科)

SOZAN Global Can-do List (教科:理科)						
目指す生徒像 (教科)	自然の事物や現象について幅広く理解し、目的意識を持って科学的に探究し、科学的根拠に基づき協働して思考、判断、行動することができる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	① 幅広く深い教養	② 課題発見・解決能力	③ 新たな価値を創造する力	④ 主体的に行動する力	⑤ 他者と協働する力	⑥ 自他を尊重する心
H3	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事物・自然現象を、抽象的・数学的概念や科学的用語と関連付けて認識できる。 観察・実験結果を定量的に体系化・法則化できるとともに、科学的概念、科学用語、法則、数学的手法を用いて様々な現象を論理的に推論・活用ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な自然現象を科学的な根拠に基づいて実験・観察を企画し実践することで、身の回りの様々な問題に対処することができる。 より広い視点とより広い立場から物事を捉え、よりよい解決策を提案したり、判断したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な議論の中から現代の諸課題に対応した新たな価値を見出すことができる。 科学技術が環境や社会に及ぼした影響を正しく評価し、持続可能な社会を構築するために科学技術をどのように役立てればよいか考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的意識を持って、より質の高い学び合いをすることができる。 問題や課題を正しく認識・理解して、科学的な根拠に基づいて決断し、積極的に議論することができる。 他の班の実験結果・解釈・意見について質問ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験や観察・調査を定量的に行い、グラフや数式を用いて法則化した抽象的な概念を、科学の用語や数学的方法を用いて説明できる。 科学用語や数式を用いて誤差も考慮しながら、自身の考えを班やクラスに伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命と自然環境を尊重するとともに、社会で起こる様々な出来事に興味・関心を持ち、科学技術と職業との関連を理解し、進路や職業選択に役立てることができる。
H2	<ul style="list-style-type: none"> 様々な事物・自然現象を、抽象的概念や科学的用語と関連させて認識できる。 観察・実験結果を定量的に体系化・法則化できるとともに、科学的概念、科学用語、法則などを用いて様々な現象を推論や活用ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事物・現象を科学的に捉えたり理解する知識や、定量的に捉える手法(精度の高い実験・観察・調査方法・グラフ化・定式化等の方法など)を身に付けている。 実験・観察の誤差や限界を理解し、その原因を踏まえた上で科学的プロセスに適した精度の高い実験・観察を提案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学技術が及ぼした環境や社会に及ぼした影響を理解し、希望の持てる社会のために科学技術がどうあるべきか考えることができる。 様々な議論の中から現代の諸課題に対応した新たな価値を見出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題や課題を正しく認識・理解し、解決するために何が必要かをすべきかを考えて、より質の高い学び合いをすることができる。 他の班の実験結果・解釈・意見について質問ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験・観察・調査を定量的に行い、その結果をグラフや数式を用いて法則化した抽象的な概念を、科学の用語や数学的方法を用いて説明できる。 安心して意見、質問、提案、討議ができる環境を作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命と自然環境を尊重するとともに、社会で起こる様々な出来事に興味・関心を持ち、科学技術と職業との関連を理解していることを理解することができる。
H1	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの事物・現象を、抽象的概念や科学的用語(事物名、現象名、法則名など)と関連させて理解できる。 観察・実験結果を定量的に体系化・法則化できるとともに、抽象的概念、科学用語、法則などを用いて様々な現象を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 事物・現象を科学的に捉えたり理解する知識や、定量的に捉える手法(実験・観察・調査方法やグラフ化の方法など)を身に付けている。 実験・観察の誤差を理解し、その原因を踏まえた上でより必要とされる精度の実験・観察を提案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会で起こる様々な出来事に興味・関心を持ち、科学技術が様々な職業と関連していることを理解することができる。 質問に科学用語や数式を用いて誤差も考慮しながら議論をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題や課題を正しく認識・理解し、仲間何かを伝えることが必要かを考えて、より質の高い学びをすることができる。 科学に興味を持ち、学んだ法則が実際にどんな形で生活の中に活かされているのか積極的に調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験・観察・調査を、数量を意識しながら班員と協力して行い、その結果をグラフ化・図式化などの方法でまとめる。 結果を基に、他の班とも意見を出し合い抽象的な概念や科学の用語を使って、結論を導くことができる。 安心して意見、質問、提案、討議ができる環境を作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命と自然環境を尊重するとともに、環境保全や生活水準の向上に寄与しようとすることができる。 環境問題に科学的な視点で向き合い、人々が住みやすい生活環境に配慮して活動できる。
J3	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りに存在する事物や身の回りに生じる現象を、エネルギー・原子・遺伝子など抽象的な概念とも関連させながら理解し、観察・実験の結果を原理・法則として整理し、科学的用語(事物名、現象名、法則名など)との関連において理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りに存在する事物や身の回りに生じる現象について観察・実験を行い、その結果について規則性や普遍性を見つけられる。 より適切な実験や観察を行うための改良方法や理解を深めるための実験・観察方法を提案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験・観察・調査の基本操作を習得するとともに、結果を整理し、得た結果から自らの意見や考えを、抽象的な概念や科学の用語、図、グラフなどを用いながら説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 班・クラス内で安心して意見、質問、提案、討議ができる環境を作るとともに、安全に配慮し、より質の高い観察・実験に取り組む雰囲気作りができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命と自然環境を尊重するとともに、環境保全や生活水準の向上に寄与しようとする姿勢が身に付いている。 科学技術が様々な職業とも関連していることを理解し、将来の進路や職業選択に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の班の発表・解釈・意見について質問したり、質問に対して根拠を基に説明したりできる。 発表や疑問に対して客観的な思考や判断をもとに科学的推論形式を意識した議論をすることができる。
J2	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りに存在する事物や身の回りに生じる現象を、観察・実験を行いながら科学の基本概念や原理・法則、多様性や規則性などとして整理し、科学的用語(事物名、現象名、法則名など)との関連において理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りに存在する事物や身の回りに生じる現象を、観察・実験の対象として認識し、観察・実験の結果から規則性や普遍性を見つけていることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験・観察・調査の基本操作を習得するとともに、その結果を整理し、グラフなどで表された結果を科学的に解釈して結論を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 班員やクラスメートが安心して意見や疑問を述べたり、提案したりし、やすい環境を作るとともに、安全を考慮した観察・実験を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命と自然環境を尊重する姿勢が身に付いている。 科学技術が日常生活や社会を豊かにし、様々な職業とも関連していることを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の班の発表・解釈・意見について質問したり、質問に対して根拠を基に説明したりできる。 実験データや既習の事実をもとに根拠を示しながら議論をすることができる。
J1	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りに存在する事物や身の回りに生じる現象を、観察・実験を行いながら科学の対象として意識・整理し、科学的用語(器具名や法則名など)との関連において理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りに存在する事物や身の回りに生じる現象を、観察・実験の対象として認識し、観察・実験結果を自分の経験・知識に照らして解釈・表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験・観察・調査の基本操作を習得するとともに、グラフなどで表された結果や証拠を基に自らの意見や考えを説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 班員やクラスメートが安心して意見を述べられる雰囲気を作るとともに、安全に配慮して観察・実験を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命と自然環境を尊重する姿勢が身に付いていること。 科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることを理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の班の発表・解釈・意見について質問したり、質問に対して根拠を基に説明したりできる。 発表や疑問をもとに主体的に自分の意見と他者の意見を比較することができる。

SOZAN Global Can-do List (教科：音楽)

目指す生徒像 (教科)	音や音楽によって何かを伝え合う喜びを感じられる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情動的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	① 幅広く深い教養	② 課題発見・解決能力	③ 新たな価値を創造する力	④ 主体的に行動する力	⑤ 他者と協働する力	⑥ 自他を尊重する心
H3	音楽を形成している多様な要素やその働きを理解し、創造的に高度な聴音・新曲視唱に取り組むことができる。	楽曲にふさわしい演奏・歌唱について試行錯誤しながら正しい表現形態を自ら見つけることができる。	音楽を形作っている要素とその働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら新たな方策を取り入れることができる。	楽曲にふさわしい表現法について、多様なイメージの中から独自の演奏を創出し、提案することができる。	多種の音楽や演奏や音楽について、それぞれの良さや美しさを自分の言葉で表現し、共有することができる。	様々な音楽活動を通して、音楽を愛好する心情を育み、生涯にわたり生活や社会に生かして行くことができる。
H2	音楽を形成している多様な要素やその働きを理解し、創造的に高度な聴音・新曲視唱に取り組むことができる。	楽曲にふさわしい演奏・歌唱について試行錯誤しながら正しい表現形態を自ら見つけることができる。	音楽を形作っている要素とその働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら新たな方策を取り入れることができる。	楽曲にふさわしい表現法について、多様なイメージの中から独自の演奏を創出し、提案することができる。	多種の音楽や演奏や音楽について、それぞれの良さや美しさを自分の言葉で表現し、共有することができる。	様々な音楽活動を通して、音楽を愛好する心情を育み、生涯にわたり生活や社会に生かして行くことができる。
H1	芸術の諸活動を通して、高い感性と豊かな情操を身に付けている。	音楽の諸活動を通して、より良い表現やその方策を導き出す力を備えている。	様々な表現形態による音楽の特徴を理解し、自らのイメージの中から新たな表現法を提案することができる。	様々な音楽活動を通じて主体的・建設的な意見を出し、楽曲にふさわしい表現方法を提案することができる。	歌唱や器楽の重奏、創作などの活動を創作してお互いを理解し、高めあうことができる。	生涯にわたって音楽を愛好し、音環境へ高い意識を持ち、人間にとっての音楽の存在価値を考えることができる。
J3	様々な音楽的活動を通して高い感性と情操を有している。	音楽を形作っている要素の働きを理解し、イメージを持って音楽をとらえることができる。	音楽を形作っている要素とその働きを理解し、自他のイメージを取り入れながら新たな方策を取り入れることができる。	楽曲にふさわしい演奏法を考え、イメージに合った表現法を求めることができる。	楽曲にふさわしい演奏法をグループで話し合い、表現法を探ることができる。	様々な音楽活動を通じてグループやクラスで表現法を工夫し相手の考え方や見方を尊重することができる。
J2	文化的・歴史的など広い視野で音楽文化をとらえ理解することができる。	音楽を形作っている要素の働きを理解し、思いをのせて音楽をとらえることができる。	音楽の要素や働きを理解して思いや意図をもって表現を工夫することができる。	表現したい思いや意図を持ち、試行錯誤しながらそれらをもとめることができる。	表現したい思いや意図を持ち他者の意見を取り入れて演奏をまとめることができる。	他者の意見を取り入れながら、自己のアイデアを提案し、より良い音楽活動を行うことができる。
J1	表現や鑑賞を通じて日本や世界の音楽文化について理解する事ができる。	曲種に応じた奏法や諸活動を通じて音楽の良さを味わうことができる。	表現したいイメージを持ち、意図をもって活動することができる。	様々な表現方法を知り、曲想に合った演奏を工夫することができる。	イメージを持ってアイデアを提案し、仲間の意見を理解することができる。	より良い練習方法を工夫したり提案したりして、お互いに楽しみ高めあうことができる。

SOZAN Global Can-do List (教科：美術)

目指す生徒像 (教科)	造形活動を楽しみ、自他の文化を尊重し、主体的に表現できる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情動的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	① 幅広く深い教養	② 課題発見・解決能力	③ 新たな価値を創造する力	④ 主体的に行動する力	⑤ 他者と協働する力	⑥ 自他を尊重する心
H3	国際的な視点で美術文化について理解を深め、それを尊重することができる。	表現と鑑賞の活動において広い視点立って創造的に主題を生成し、造形的に表現することができる。	美術の創造活動において、新しい価値に気づきアイデアを構想し、造形的に表現することができる。	社会の中で美術のよさに気づき、主体的に美術に興味を持ち探求できる。	社会の中で他者と幅広く関り、造形的活動を通じてお互いを理解し、協力し合うことができる。	芸術作品の良さを味わい、感動する心を持ち、共感する心を通して人間関係を豊かにする。
H2	表現と鑑賞の活動を通じて、自他の美術文化について理解を深め、それを尊重できる。	表現と鑑賞の活動において課題に気づき、創造的に主題を生成し、造形的に表現することができる。	美術の創造活動において、新しいアイデアを構想し、造形的に表現することができる。	社会の中で美術のよさに気づき、主体的に美術に興味を持つことができる。	身近な生活の中で他者と幅広く関り、造形的活動を通じてお互いを理解し、協力し合うことができる。	感動する心を持ち、共感する心を通して人間関係を豊かにする。
H1	表現と鑑賞の活動を通じて美術の楽しさや創造の喜びを味わうことができる。	表現と鑑賞の活動において主題を生成し、造形的に表現することができる。	美術の創造活動において自ら発想し、造形的に表現することができる。	身近な生活の中で主体的に美術に興味を持つことができる。	造形的活動を通じてお互いを理解し、高めあうことができる。	感動する心を持ち、互いの作品の優れたところを見つけようとする事ができる。
J3	表現と鑑賞の活動を通して自然の造形、美術作品や文化遺産などについて理解や見方を深めることができる。	自他の文化を尊重し、主題を考え、造形的に表現することができる。	材料や用具の特性を生かし、表現意図に合う新たな表現方法を工夫して表現することができる。	自然の造形、文化遺産などについて見方を深め、美術とのかかわりに関心を持つことができる。	造形的活動を通じてお互いを認め、理解しあうことができる。	表現や鑑賞の活動を通して、作品の優れたところを尊重したり伝えたりすることができる。
J2	表現と鑑賞の活動を通して日本や世界の美術文化について主体的に調べることができる。	美術館や博物館の役割を知り、魅力や問題点を考え、発信することができる。	美術作品や身近なデザインに理解や見方を深め、表現方法を創意工夫し、創造的に表現することができる。	表現や鑑賞の能力を高めるために主体的に学習に取り組むことができる。	意見交換しながらよりよい表現活動を目指すことができる。	表現や鑑賞の活動を通して、作品のよさや工夫点を認め尊重することができる。
J1	表現と鑑賞の活動を通し身の回りや日本の美術文化について理解を深めることができる。	目的や機能などを基に豊かに発想し、形や色彩の構成について理解を深めることができる。	美術の創造活動において、意図に応じて表現方法を創意工夫できる。	表現や鑑賞の能力を身に着けるために主体的に学習に取り組むことができる。	表現や鑑賞の活動において、自分の考えを持ち、他者と意見交換することができる。	表現や鑑賞の活動を通して、自他の見方や捉え方を理解することができる。